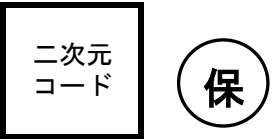


令和4年分給与所得者の保険料控除申告書

所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)		(フリガナ) あなたの氏名
税務署長	給与の支払者の法人番号	※この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます)が記載してください。	
	給与の支払者の所在地(住所)		あなたの住所 又は居所



保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた 剰余金等の控除後の金額) (a)	給与の支払者の 確認印
				氏名	あなたとの続柄			
						新	(a)	
						新	(a)	
						新	(a)	
						新	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A	0	Aの金額を下 の計算式I(新保 険料等用)に当 てはめて計算 した金額	①	(最高40,000円) 0	計(①+②)	③	(最高40,000円) 0
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B	0	Bの金額を下 の計算式II(旧 保険料等用)に 当てはめて計 算した金額	②	(最高50,000円) 0	②と③のい ずれか大き い金額	④	0
(a)の金額の合計額	C	0	Cの金額を下 の計算式I(新 保険料等用)に 当てはめて計 算した金額	④	(最高40,000円) 0	計(④+⑤)	⑥	(最高40,000円) 0
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	0	Dの金額を下 の計算式I(新 保険料等用)に 当てはめて計 算した金額	④	(最高40,000円) 0	計(④+⑤)	⑥	(最高40,000円) 0
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	0	Eの金額を下 の計算式II(旧 保険料等用)に 当てはめて計 算した金額	⑤	(最高50,000円) 0	⑤と⑥のい ずれか大き い金額	⑦	0
計算式 I (新保険料等用)※			計算式 II (旧保険料等用)※			生命保険料控除額 計(①+②+③) (最高120,000円) 0		
A,C又はDの金額	控除額の計算式		B又はEの金額	控除額の計算式				
20,000円以下	A, C又はDの全額		25,000円以下	B又はEの全額				
20,001円から40,000円まで	A, C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円				
40,001円から80,000円まで	A, C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円				
80,001円以上	一律に40,000円		100,001円以上	一律に50,000円				

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の契約者の氏名		地震保険料又は旧長期損害保険料の区分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、左欄の区分に係る金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)A	給与の支払者の 確認印
			保険等の対象となった家屋等に居住又は家財を利用している者等の氏名	あなたとの続柄			
					地震		
					旧長期		
Aのうち地震保険料の金額の合計額						B	0
Aのうち旧長期損害保険料の金額の合計額						C	0
地震保険料控除額	[Bの金額 (最高50,000円) 0] + [Cの金額(Cの金額が10,000円を超える場合は、C×1/2+5,000円) ※ (最高15,000円) 0]		= (最高50,000円) 0				

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支払った保険料の金額
		氏名	あなたとの続柄	
合計(控除額)				0

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計(控除額)	0

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。